

## 令和8年第1回白石町議会臨時会会議録

会議月日 令和8年1月19日（第1日目）  
場 所 白石町役場議場  
開 会 午前9時30分

1. 応招議員は次のとおりである。

1番	溝上 広行	9番	定松 弘介
2番	南里 隆司	10番	前田 弘次郎
3番	田島 隆一	11番	吉岡 英允
4番	吉岡 正博	12番	草場 祥則
5番	岸川 信義	13番	片渕 栄二郎
6番	友田 香将雄	14番	西山 清則
7番	重富 邦夫	15番	溝上 良夫
8番	中村 秀子	16番	内野 さよ子

2. 不応招議員は次のとおりである。

なし

3. 出席議員は次のとおりである。

応招議員に同じ

4. 欠席議員は次のとおりである。

不応招議員に同じ

5. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町 長	田島 健一	副町長	百武 和義
総務課長	谷崎 孝則	企画財政課長	大串 恭隆
総合戦略課長	山口 裕一	保健福祉課長	山下 英治
商工観光課長	筒井 直	農村整備課長	吉村 大樹

6. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	中原 賢一
課長補佐	片渕 英昭
議事係書記	島ノ江 実穂

7. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

5番	岸川 信義	6番	友田 香将雄
----	-------	----	--------

8. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案上程（提案理由の説明）

日程第4 議案第1号 専決処分の承認について（令和7年度白石町一般会計補正予算（第7号））

日程第5 議案第2号 令和7年度白石町一般会計補正予算（第8号）

---

## 9時30分 開会

### ○内野さよ子議長

おはようございます。

ただいまから令和8年第1回白石町議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

地方自治法第121条の規定に基づき、議会の出席要求に対する執行機関側の説明員はお手元の名簿のとおりです。

### 日程第1

### ○内野さよ子議長

日程第1、会議録署名議員の指名をします。

白石町議会会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、岸川信義議員、友田香将雄議員の兩名を指名します。

### 日程第2

### ○内野さよ子議長

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会は、本日1月19日、1日間にしたいと存じます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。よって、本臨時会は本日1日間に決定しました。

### 日程第3

### ○内野さよ子議長

日程第3、町長から議案が提出されています。これは、皆様に配付しています一覧表のとおりです。専決処分1件、補正予算1件、以上2件の議案を一括して議題とします。

ただいま上程しました議案について提案理由の説明を求めます。

## ○田島健一町長

議員の皆さんおはようございます。

本日、令和8年第1回白石町議会臨時会に提案いたしました議案につきまして御説明申し上げます。

まず、専決処分案件でございます。

議案第1号「専決処分の承認について（令和7年度白石町一般会計補正予算（第7号）」は、物価高の影響が長期化し、特に物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、ゼロ歳から18歳年度末までの子ども1人当たり2万円の応援手当を支給するための予算について、本年1月5日付で5,950万円の増額補正予算の専決処分を行ったものでございます。

以上について報告し、議会の承認を求めるものでございます。

次に、予算案件でございます。

議案第2号「令和7年度白石町一般会計補正予算（第8号）」については、既決の歳入歳出予算総額に3億3,075万8,000円を追加し、補正後の予算総額を187億6,915万9,000円とする増額補正予算をお願いするものでございます。

その内容につきましては、しろめしデジタル商品券給付事業として、物価高騰の影響を受けた町民生活の負担軽減を図るため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全町民1人当たり1万円のしろめしデジタル商品券を配布するものでございます。また、加えまして、子育て世帯に対し、18歳以下の子ども1人当たり1万5,000円のデジタル商品券も配布するものでございます。

次に、ふるさと応援事業費については、ふるさと寄附金に対応するための予算を計上しており、多面的機能支払交付金事業では、資源向上支払交付金の増額に伴い、同じく予算を計上するものでございます。

そのほか、職員の人件費で、1月の人事異動に伴い、関係課の人件費について補正するものでございます。

提案いたしました議案につきましては、以上のとおりでございます。

提案議案の詳細については、担当課長から説明させます。それぞれ十分に御審議賜りますようお願いいたします。

## ○内野さよ子議長

担当課長の議案内容説明については、文書によりこれに代えます。なお、この文書は、議案の内容が分かるよう、会議録に記載することといたします。

（担当課長の議案説明）

## ○大串恭隆企画財政課長

議案第1号「専決処分の承認について（令和7年度白石町一般会計補正予算（第7号）」について、御説明いたします。

白石町一般会計補正予算（第7号）につきましては、令和8年1月5日付で専決処分を行いましたので、これを議会に報告し、承認を求めるものです。

補正予算書の1ページをお願いします。

既決の歳入歳出予算総額に5,950万円を追加し、補正後の予算総額を184億3,840万1,000円とするものです。

7ページをお願いします。

歳入について、御説明いたします。

16款国庫支出金、2項、2目、民生費国庫補助金では、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金5,950万円を計上しております。

8ページをお願いします。

歳出について、御説明いたします。

3款民生費、2項、1目児童福祉総務費では5,950万円を計上し、12節委託料に150万円、18節負担金補助及び交付金に5,600万円を計上いたしております。物価高の影響が長期化し、特に物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、ゼロ歳から18歳年度末までの子ども1人当たり2万円の応援手当を3月に支給する予定です。

以上で説明を終わります。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

議案第2号「令和7年度白石町一般会計補正予算（第8号）」について御説明いたします。

補正予算書の1ページをお願いします。

既決の歳入歳出予算総額に3億3,075万8,000円を追加し、補正後の予算総額を187億6,915万9,000円とするものです。

次に、歳入歳出について御説明いたします。

まず、歳入の主なものについて、御説明いたします。

7ページをお願いします。

16款国庫支出金、2項、1目総務費国庫補助金で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2億7,000万円を計上し、17款県支出金、2項、4目農林水産業費県補助金で多面的機能支払交付金事業補助金884万1,000円を計上しております。また、19款寄附金、1項、1目指定寄附金で、全国から御寄附をいただきます、ふるさと寄附金5,000万円を増額しております。

次に、歳出の主なものについて、御説明いたします。

8ページをお願いします。

2款総務費、1項、8目地域づくり推進費で「しろめしデジタル商品券給付事業」として令和8年2月1日を基準日として、全町民に対し1人当たり1万円の商品券を配布します。加えて子育て世帯には別に18歳以下の子ども1人当たり1万5,000円のデジタル商品券を3月中旬に配布します。使用期間は8月末を予定しています。

11ページをお願いします。

6款農林水産費、1項、7目農地費で多面的機能支払交付金事業で、資源向上支払（長寿命化）の交付金増による補助金の増加により1,178万9,000円。

その他、1月の人事異動に伴い関係課の職員人件費について補正予算に計上しております。

また、12ページ以降の給与費明細書につきましては、説明を省略しますので、御確

認をお願いいたします。

以上で説明を終わります。

御審議のほど、よろしくをお願いいたします。

**○内野さよ子議長**

暫時休憩します。

9時35分 休憩

10時35分 再開

**○内野さよ子議長**

会議を再開します。

日程第4

**○内野さよ子議長**

日程第4、議案第1号「専決処分の承認について（令和7年度白石町一般会計補正予算（第7号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第1号「専決処分の承認について（令和7年度白石町一般会計補正予算（第7号）」を採決します。

本案を承認することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第1号は承認されました。

日程第5

**○内野さよ子議長**

日程第5、議案第2号「令和7年度白石町一般会計補正予算（第8号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

**○岸川信義議員**

町内の活性化のために——目的は物価高騰の対応なんですけれども——商品券が発行されるということは非常にいいことだと思っています。

その中で、いろいろ意見が議員間でもあるようですけれども、今回、60歳以上という一つの区分けをされたことは、私としては評価しています。

2番目に、小売店等に無料の読み取り等も、いろんな機械がこの頃出てるそうですから、その辺のところも対応をして、高齢化社会が町内のあらゆる部分であっている

ということに対応できればと思います。

それから、3点目は、令和8年3月15日から交付される予定ということなんですけれども、3月議会が始まっていろんな意見が出てくると思うんですけれども、そのことが実際言ってこの商品券に反映されんじゃないかと。

もう一つ、そこは質問になるんですけれども、今回、計画的に給付事業内容を明記したら来年度にでも持ち越して給付できるんじゃないかと思えますけれども、その辺のところもぜひお答えしてもらいたいと思います。

### ○山口裕一総合戦略課長

小売店の方の対応にいたしましては、当然小売店のほうとの事業者説明会等々を行いながら、対話、そして説明会でのやり取りを通じまして、これはしっかりとやっていきたいと思っておりますし、機器につきましては、レンタルの機器を40台ほど準備したいと思っております。

そして、交付の時期——実際発送の時期になりますね——については、国からの要請もございますので、スピード感というところは私どもも重視したいと思っております。各自治体のほうと比較いたしましての対応の遅れということは、これは我々も重責を問われるということになりますので、そのあたりは今回スピード感を持って対応してまいるというスタンスでおります。

以上でございます。

### ○大串恭隆企画財政課長

予算の使用時期の話をしてもらったと思えますが、事業内容説明書で8月までというようなことで説明をしてあったかと思えます。

04の一般会計補正予算書の中の5ページでございますが、ここに繰越明許費の補正という形で、しるめしデジタル商品券の給付事業ということで2億7,464万円を掲げとりますけれども、繰越明許費と申しますのが、その性質上または予算成立の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものにつきまして、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することができるものということでございまして、予算につきましては単年度が事業会計の予算でございますが、こういった形で繰越明許を掲げておりますと、令和7年度に続きまして令和8年度でも予算の使用をすることができるという形です。

以上です。

### ○岸川信義議員

先ほど説明がありましたように、繰越しができるということでもありますので、取りかかりが令和8年3月15日でありましようけれども、計画的につくってしまえば次年度にもそういう持ち越しができる。また、ほかの自治体もそういうところがあるんじゃないかなと私は思っているわけなんです。そのところを3月15日にせんばいかんかというところをお尋ねしたところなんです。

### ○山口裕一総合戦略課長

交付する時期については、住民の皆様の御期待というのも非常にございますので、そこはなるべくスピード感を持ってという方向には変わりございませんけれども、実際先ほど企画財政の課長のほうからも繰越明許の話をしていただきましたけれども、この中で子育ての分については、出生者を実際に追っていくとかという分については来年度以降も繰越しの予算を使用していくという形になってくるかと思っておりますので、こういったスケジュール感でまいりたいと思っております。

以上でございます。

### ○内野さよ子議長

ほかに質疑ありませんか。

### ○溝上広行議員

しろめしデジタル商品券給付事業について質問いたします。

60歳以上はQRコードのカード式での送付ということで、今実施されてるやつと違うような中身でされるということなんですけど、60歳以上はQRコード式にするという理由は、60歳のところで明確な有意差があったというか、実際アプリが対応できる方、できない方とかというので大きな開きがあったのでこういうふうにされたのですかというのを確認したいのと、業務の中でPRのポスター、店舗とかに貼るようなポスターの印刷なども出てくるかなと思うんですけど、そういうのって町内事業者でできそうな業務だと思うんですけど、町内調達のほうに振るというか、そういうのって検討できないのでしょうかというところをお尋ねいたします。

### ○山口裕一総合戦略課長

今回、60歳以上のカード送付というのを導入いたしました。これについては、当然我々どものほうでも前回のデータ集積ができた上での対応になっております。ただ、そのデータ集積だけで捉えては、私たちもいかにところがあると思っております。それは、住民の皆様の声を一人一人聞いて、そして窓口での対応をさせていただいておりますので、そういった声を聞かせていただいていた今回の年齢の仕分の対応ということになってまいります。

それと、委託事業者のやり方については、個々、また委託事業者のほうとも打合せ等々を重ねてまいりたいと思っております。

以上です。

### ○内野さよ子議長

ほかに質疑はありませんか。

### ○吉岡正博議員

しろめしデジタル商品券給付事業でお尋ねですが、現在もデジタル商品券が出ておりますが、それについて分析をされたというお話でございましたので、その分析の内

容、状況と、それを今回のデジタル商品券でどう生かされているのかをお尋ねしたいと思っております。それが1つ。

もう一つですが、ペーパーじゃなくてデジタル化することによってどれぐらいの経費削減が図られているのかを、概算で結構ですでお尋ねしたいところです。

### ○山口裕一総合戦略課長

先ほども申しましたように、デジタル商品券については、データの集積所というのが、個別個別に、個々一人一人の集積したデータを持っております。そこによりますと、おおむね65歳以上というのが若干リテラシーが下がるということもあるので、そしてもう一つ、60歳以上というところを幅広く見て行政機関として住民の皆様へ寄り添うという感覚で、60歳以下についてはアプリを使用させていただくという形でございます。

そして、もう一つなんですけども、今回、デジタル商品券の、DX化の一つでもあるんですけども、アプリを使うことによって、銀行さんあたりというのも決済手数料というのも物すごく大きくなって年々高くなっているという状況から鑑みると、経費的にはあまり変わらないぐらいの経費で抑えられるという面もございまして、そういう相乗効果を考えますと、やはり商品券のほうをデジタル化するというのがベターというほうで今回の事業に踏み切っているところでございます。

### ○内野さよ子議長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第2号「令和7年度白石町一般会計補正予算（第8号）」を採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

以上で本臨時会に付された案件は終了しました。

これをもちまして令和8年第1回白石町議会臨時会を閉会いたします。

10時48分 閉会

---

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和8年1月19日

白石町議会議長 内野 さよ子

署名議員 岸川 信義

署名議員 友田 香将雄

事務局長 中原 賢一